

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社

コード番号 2488 URL <http://www.itp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当

(氏名) 高島 隆明

TEL 03-6408-2488

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 3,360 | 1.0 | 51 | 64.2 | 62 | 61.7 | 28 | — |
| 26年3月期第3四半期 | 3,327 | △0.5 | 31 | 417.3 | 38 | 927.4 | △11 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 36百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △10百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 5.44 | — |
| 26年3月期第3四半期 | △2.20 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 2,701 | 1,718 | 1,718 | 1,718 | 63.6 | 331.34 |
| 26年3月期 | 2,807 | 1,733 | 1,733 | 1,733 | 61.7 | 334.26 |

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,718百万円 26年3月期 1,733百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,900 | 4.1 | 200 | 145.8 | 200 | 123.0 | 105 | 603.8 | 20.24 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期3Q | 6,015,600 株 | 26年3月期 | 6,015,600 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期3Q | 830,141 株 | 26年3月期 | 830,141 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期3Q | 5,185,459 株 | 26年3月期3Q | 5,185,500 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる影響が一部見られるものの、円安や株高を背景に企業収益は大企業を中心に改善傾向にあり、情報システムへの投資意欲の高い状態が続いております。そのような状況下において、当社グループは、平成26年6月30日に新中期事業計画（2015年3月期～2017年3月期）を発表し、「ITスキルアセスメントGAIT」、「ソーシャルメディアキュレーションサービスWayin」及び「クラウド」、「ビッグデータ」、「データサイエンティスト」等の教育事業をはじめとしたソフトウェア・ソリューション事業への本格的な転換を開始致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,360,582千円（前年同期比1.0%増）となりました。利益面では、51,372千円の営業利益（同64.2%増）となりました。営業外収益として為替差益9,578千円を計上した結果、62,365千円の経常利益（同61.7%増）、更に特別利益として平成26年4月26日に当社代表取締役会長であった森和昭の逝去に伴う受取保険金70,000千円の計上、特別損失として弔慰金50,000千円を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は77,069千円（同99.9%増）、四半期純利益は28,240千円（前年同期は11,419千円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

① ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門は、新中期事業計画において今後の中核事業として位置付けております「ビッグデータ」関連事業の布石として、センサークラウド等のビッグデータ基盤技術に強みのある「インフォコーパス」社と協業を開始致しました。更にビッグデータ技術大手「Hortonworks」社ともエンドユーザ向けトレーニングコースデリバリ契約を締結し提供を開始致しました。この結果、前年同期比で売上高は増加となったものの、教室拡張に伴う家賃負担の増加により営業利益は前年同期比で減少致しました。今後も、市場ニーズの高いビッグデータ関連事業に注力してまいります。

ヘルプデスク・コールセンタ部門は、一部ベンダーからの既存の受託業務の終了が影響し、前年同期比で売上高、営業利益ともに減少致しました。なかでもクラウド技術の基盤となる要素技術の一つである仮想化技術のヘルプデスク業務とコンシューマ向けネットワーク製品のコールセンタ業務の比重が高い状態が続いており、第3の柱となる「ビッグデータ」、「クラウド」に関連する業務の受注に向け、営業活動に注力しております。

ソフトウェア開発部門は、半導体メーカーの業務委託先の見直しという逆境の中、積極的に営業活動を行った結果、業務受託量が増加し前年同期比で売上高、営業利益ともに増加致しました。今後も業務拡大をはかるべく、積極的に営業活動を行っております。

GAIT事業は、営業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の受験者数が62社6,930人と前年同期比で大幅に増加し、売上高も増加致しました。今後も国内外での普及をはかってまいります。

Wayin事業は、利用企業が増加し、その実績が評価されWayin本社より2014年のTop Performing Partner賞を受賞しました。この結果、前年同期比で売上高、営業利益ともに増加致しました。今後も利用企業の拡大をはかるとともに、付帯サービスを充実させソーシャルメディアマーケティングツールの絶対的な地位確立を目指します。

最後に、学校・医療・広告宣伝分野で需要が見込まれる自律型ヒューマノイド・ロボット「NAO」の販売及び付帯サービスの提供を開始致しました。

この結果、ソフトウェア・ソリューション事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,586,052千円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は154,032千円（同28.5%増）となりました。

② フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システムサポート部門は、一部ベンダーからの既存業務の終了により、前年同期比で売上高、営業利益ともに減少致しましたが、国内SIer・販売会社に対して、システム運用・保守業務の営業活動を重点的に行った結果、数社が受注に至り業務を開始しております。今後も営業を強化し、エンジニアの稼働率を高く維持することで利益の確保をはかります。

IT応用システム・サポート部門も、一部ベンダーからの既存業務の終了や業務受託量の減少により、前年同期比で売上高は減少致しましたが、エンジニアの適正配置により営業利益は増加致しました。今後は、これまで中心であった医療分野、化学分析分野における海外ベンダーのサポートだけではなく、世界的にもその品質が高く評価されている国内ベンダーに対しても事業領域の拡大をはかってまいります。

この結果、フィールド・ソリューション事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,174,559千円（同13.7%減）、セグメント利益は190,643千円（同20.6%減）となりました。

③ ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門は、業務受託量の変動が激しいものの、新規の業務受託や事業の立ち上げにより前年同期比で売上高、営業利益ともに増加致しました。今後も、急な業務受託量の増減に対する適正な要員配置に重点をおき、営業利益の確保をはかります。

リペアセンタ部門は、業務受託量の増加により前年同期比で売上高、営業利益ともに増加致しました。今後も営業活動を強化し、業務の拡大をはかります。

この結果、ハードウェア・ソリューション事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は599,743千円（同23.7%増）、セグメント利益は64,113千円（同48.2%増）となりました。

④ その他

海外における「データエントリー事業」で構成されており、当第3四半期連結累計期間の売上高は226千円（同79.9%減）、セグメント損失は8,021千円（前年同期は7,946千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し106,050千円減少し2,701,124千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し60,963千円減少し1,957,537千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加に対し、受取手形及び売掛金の減少、賞与引当金減少等に伴う繰延税金資産の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し45,087千円減少し743,586千円となりました。これは主に、減価償却費の計上による有形固定資産、無形固定資産の減少によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し90,938千円減少し982,931千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し98,978千円減少し592,782千円となりました。これは主に、買掛金、賞与引当金の減少によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し8,039千円増加し390,149千円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し15,112千円減少し1,718,192千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加に対し、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月15日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 845,997 | 1,109,487 |
| 受取手形及び売掛金 | 960,756 | 666,089 |
| 商品 | 30,354 | 25,657 |
| 仕掛品 | — | 32,447 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,437 | 7,736 |
| その他 | 186,143 | 128,700 |
| 貸倒引当金 | △18,189 | △12,581 |
| 流動資産合計 | 2,018,500 | 1,957,537 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 181,793 | 166,088 |
| 無形固定資産 | 202,752 | 172,724 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 408,033 | 411,205 |
| 貸倒引当金 | △3,905 | △6,432 |
| 投資その他の資産合計 | 404,128 | 404,773 |
| 固定資産合計 | 788,674 | 743,586 |
| 資産合計 | 2,807,175 | 2,701,124 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 170,561 | 87,324 |
| 未払法人税等 | 34,073 | 18,925 |
| 賞与引当金 | 128,421 | 76,672 |
| 役員賞与引当金 | — | 13,500 |
| その他 | 358,704 | 396,360 |
| 流動負債合計 | 691,760 | 592,782 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 350,353 | 365,281 |
| その他 | 31,756 | 24,868 |
| 固定負債合計 | 382,110 | 390,149 |
| 負債合計 | 1,073,870 | 982,931 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 795,475 | 795,475 |
| 資本剰余金 | 647,175 | 647,175 |
| 利益剰余金 | 736,687 | 713,072 |
| 自己株式 | △422,043 | △422,043 |
| 株主資本合計 | 1,757,293 | 1,733,679 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,240 | 4,875 |
| 為替換算調整勘定 | △8,471 | △9,814 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △14,276 | △10,547 |
| その他の包括利益累計額合計 | △23,988 | △15,486 |
| 純資産合計 | 1,733,304 | 1,718,192 |
| 負債純資産合計 | 2,807,175 | 2,701,124 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 3,327,633 | 3,360,582 |
| 売上原価 | 2,799,818 | 2,862,802 |
| 売上総利益 | 527,814 | 497,780 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び賞与 | 107,701 | 131,914 |
| 賞与引当金繰入額 | 4,241 | 5,008 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 13,500 | 13,500 |
| 退職給付費用 | 2,563 | 3,804 |
| その他 | 368,522 | 292,180 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 496,528 | 446,407 |
| 営業利益 | 31,286 | 51,372 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 95 | 93 |
| 保険配当金 | 2,416 | — |
| 為替差益 | 5,548 | 9,578 |
| その他 | 113 | 1,879 |
| 営業外収益合計 | 8,174 | 11,550 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 890 | 548 |
| その他 | 8 | 9 |
| 営業外費用合計 | 898 | 557 |
| 経常利益 | 38,561 | 62,365 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | — | 70,000 |
| 特別利益合計 | — | 70,000 |
| 特別損失 | | |
| 弔慰金 | — | 50,000 |
| 社葬費用 | — | 5,296 |
| 特別損失合計 | — | 55,296 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 38,561 | 77,069 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,633 | 32,479 |
| 過年度法人税等 | 14,425 | — |
| 法人税等調整額 | 29,922 | 16,349 |
| 法人税等合計 | 49,981 | 48,829 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △11,419 | 28,240 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △11,419 | 28,240 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) |
|---|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | △11,419 | 28,240 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | 6,115 |
| 為替換算調整勘定 | 193 | △1,342 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,206 | 3,729 |
| その他の包括利益合計 | 1,400 | 8,502 |
| 四半期包括利益 | △10,019 | 36,742 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △10,019 | 36,742 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。